

# 寸言

デロイト トーマツ  
コンサルティング株式会社  
代表取締役社長  
伊香賀 正彦



## 日本の航空宇宙・防衛産業に新しい力を

SJAC並びに会員の皆様におかれましては、健やかなる新春をお迎えになられましたことと心よりお慶び申し上げます。デロイトトーマツコンサルティング株式会社の伊香賀でございます。この度、皆様にご挨拶する機会を得、大変光栄に存じております。

私たちがメンバーとなっている Deloitte Touche Tohmatsu (デロイト) は、監査・税務・コンサルティング・ファイナンシャルアドバイザリー等のプロフェッショナルサービスを世界140カ国以上において展開しています。また、日本においては監査法人トーマツを母体にグループでサービスを提供しています。

「日本の航空宇宙・防衛産業に新しい力を」

このスローガンの下、私たちの航空宇宙・防衛 (A&D) セクターは活動を始めました。米国において65年以上のサービス提供実績を有する米国チームと、アジア太平洋地域の製造業に精通する日本チームとのコラボレーションにより、企業のニーズに応え、より付加価値の高いサービスを提供していく所存です。

戦後7年間航空機製造を禁じられた歴史を持つ我が国ですが、様々な国際プロジェクトへの参画、小型ジェット機事業化等、近年当産業は著しく発展しています。また、世界的な航空機需要の拡大に伴い、日本・インド・中国を代表とするアジア太平洋地域全体の成長により、10年後には世界の民間航空機需要の約3割が当該地域に集中し、それに伴い更なる日系航空産

業の成長が見込まれています。

そのような中、技術の高度化、技術者の高齢化及び若手の人材不足、サプライチェーン及びプログラムマネジメントの複雑性、政治的要因の影響など、産業特有の課題は山積みです。これらは、プログラムを長期化させ、結果としてコスト超過の引き金となります。さらに、航空宇宙防衛関連プログラムには、多数の利害関係者が存在するため、企業と政府が一丸となって問題に取り組む必要があります。

このように企業、業種ともに広範多岐にわたり、且つ高度な専門性が要求される当産業に属する企業の良き協働者であるために、当社は以下の4つのポイントが重要であると考えます。

1. 世界中で最適なチームを編成
2. 使える戦略、効く戦略で支援
3. 多面的なアプローチで課題を解決
4. 客観的な助言者という姿勢

私たちはSJACを通じて、産業特有の課題に対し、戦略とその導入・実現に至るまでの一貫した支援に加え、当社の強みのひとつであるグローバルネットワークを利用しての鮮度が高く、皆様にとって有益となり得る情報を、様々な形で発信していきたいと考えております。

微力ではございますが、日本の航空宇宙・防衛産業の一層の発展に貢献できるよう努力してまいります。皆様方のご指導を心よりお願い申し上げます。皆様方のご指導を心よりお願い申し上げます。皆様方のご指導を心よりお願い申し上げます。皆様方のご指導を心よりお願い申し上げます。